



「次の世代を育む」特色ある教育





【ニチジュウの教育を支えるスタッフ】
教務部長:松石教授 FD委員会委員長:倉田教授
教務委員会、FD委員会の皆さん

P.4 特集・ニチジュウの特色ある教育

- ・教務部長メッセージ
- 【特集1】実践力を養うニチジュウの特色ある実習
- ・獣医保健看護学科 動物医療センター実習
- ・獣医学科 野生動物学実習
- ・動物科学科 農場実習
- ・食品科学科 食品セミナーⅠ・食品セミナーⅡ
- ・オーストラリアスタディ・ツアー
- 【特集2】教育・学習方法等改善プログラム
- ・大動物臨床実習内容の充実化
- ・博物館資料の視覚化と展示法の改善

P.14 第4回医獣祭 知ってる?医獣祭実行委員会

P.18 連載・スペシャリストへの道

- ・獣医学科6年次 内田光俊さん
- ・食品科学科4年次 友野夏実さん
- ・日本中央競馬会調教師 齋藤崇史さん(2005年動物科学科卒)
- ・学校法人日本医科大学 石井奈穂美さん(2012年獣医保健看護学科卒)

P.22 [IR情報]データで読み解くニチジュウ

P.24 [News Topics]ニチジュウCAMPUS NOW

P.26 新任教員紹介

- ・獣医保健看護学科 獣医保健看護学臨床部門 関瀬利助教
- ・付属動物医療センター 阿江理恵子助手

CONTENTS

Hello
we are NVLU

動物とヒトを繋ぎ、都市と地方を繋ぐ架け橋はヒト自身です。未来につなげるにはヒトとヒトとの繋がりを大切にしなければならず、本大学にとって「繋がり」は強みです。その強みを一言で表すと「Hello」。

獣医と生命科学の情報発信拠点たる我々が世界にHelloと呼びかける必要があるのです。

教務部長

松石 昌典

Masanori MATSUISHI

日本獣医生命科学大学の 教育とその改善

教務部長 松石 昌典

本学の教育理念は「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」です。この理念にしたがって、獣医学部と応用生命科学部ではそれぞれの学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定め、それに向かって教育を行っていくための教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を定めています。そして、これらの方針に沿ったカリキュラムが編成され、日々教育がなされています。

実際の教育の現場を構成しているのは、講義・実習を行う教員とそれをサポートする事務職員、そして、教育を受けている学生です。教員は従来からある教科書や資料に加えて、シラバス、アクティブラーニングおよび学習支援システムなどの各種の道具を使いながら、よりわかりやすく面白い、しかも、考えさせる講義を目指して工夫を重ねています。これに対して、学生の新しいことを知りたいという好奇心、学んで自分を向上させたいという意欲は欠くことのできない教育の要素の一つです。行われた講義・実習の内容が適正であったかを確認して改善していくために授業評価アンケートも行われています。そこでの学生による公正な評価と具体的意見の表明、そして、それを真摯に受け止める教員の謙虚さが教育改善のドライブになります。

多様な学生が入学してくる今日、残念ながら、好奇心や意欲のあまり高くない学生がいることは事実です。100名近くの学生を一人の教員が教えるというスタイルでは、学力のばらつきを埋めることには限界もあるでしょう。また、教員の側も、教育改革の掛け声のもとに、カタカナの新しい仕掛けの提案が多く、食傷気味であるかもしれません。しかし、教育機関として、次の世代を教え育てという使命を忘れてはならないと思います。

教務部では、教務課が教育事務全般をつかさどる一方で、その支援を受けながら教務委員会およびFD委員会において、教育改善の議論を続けています。全ての学生を教育理念に沿った有為な人材として育てることを目指して、教務部は働いております。

【略歴】

昭和61年に日本獣医畜産大学に着任。米国アリゾナ大学で博士号を取得。応用生命科学部食品科学科 食品化学教室では食品、特に食肉のおいしさについて研究を行っている。一方で、平成29年FD委員会委員長を務め、平成30年からは教務部長を務めるなど、ニチジュウの教育に注力している。

獣医学科学生と臨床実習——
動物看護師に必要な実践力を養う
『動物医療センター実習』

→p.06

獣医保健看護学科2年次
山本 恵美さん(左)
山口 雛さん(中央)
荻田 知果さん(右)

今まで習ってきたことの集大成といっても過言ではないくらい大切な実習です！実習室と動物医療センターでは緊張感が全く違います。とにかく自分から積極的に仕事を掴みにいくこと！そして何より大切なのは“やる気”です。

実際の動物に触れ、体験し学ぶ——
産業動物の飼養管理を理解する
『農場実習』

動物科学科2年次
濱 こなみさん

→p.08

牧場での本格的な実習は初めてで、とにかくすべてが新鮮。特に直腸検査では授業で習ったことを再確認でき、実際に触ってみたいと分からなかったこともあり良い経験となりました。3泊4日の集団生活は同級生との仲もより深まり、普段の大学生生活だけでなく、3年次にある牧場実習もより楽しみになりました！

実践力を養う学外での経験——
また、自身のキャリアを考える
『食品セミナー』

→p.10

食品科学科3年次
橋本 純平さん(左)
長谷川大起さん(右)

工場見学、商品や学科のPR、そして商品開発など、普段の授業や実習では経験できないことがこの実習では経験できます。外部企業の方と接することで、自分自身に何が不足しているかを気づけるのも勉強になります！

野生動物に対応できる獣医師の育成——
ヒトと野生動物の共生を考える
『野生動物学実習』

獣医学科4年次 玉城 芽衣さん

この実習では、吹き矢の作製や動物園での行動観察、鳥の保定洗浄、タヌキなど中型食肉目の剖検など、通常では経験できないことを経験できます。野生動物に興味がある方もそうでない方にもおすすめです！

ニチジュウの特色ある教育を支えるスタッフ

教務委員会

教務部の円滑な運営のための委員会。専攻分野における5年以上の実務経験を有し、かつ高度の実務能力を有する教員と職員で構成されています。委員長は教務部長です。

FD委員会

教育内容および方法等の改善を恒常的に図るため設置された委員会。令和元年度の委員長は倉田教授です。
FD: Faculty Development 大学の授業改革のための組織的な取り組み

教務課

E棟1階事務室向かって左に位置する教務課。学生の入学から卒業まで学籍及び成績を管理し、学びをサポートしています。

FDワークショップの様子▶





獣医保健看護学科3年次 動物医療センター実習

「動物医療センター実習」基礎Data
獣医学科学生とともに本学が誇る付属動物医療センターでの実習。これは獣医師教育機関として実績があるニチジュウならではの貴重な体験ができる。
学生は受講前に「学修支援システム」より、手洗い方法やガウンの着方の他、器具の説明や検査の方法等の動画を視聴して実習に臨む。

命の現場で実践を積み、動物看護師として獣医療をサポートします。

これまでの講義や実習で習ったことの実践の場である「動物医療センター実習」。実習での訓練された健康な犬猫とは違い、緊張感が漂います。オーナーさんとのやりとりは動物医療センター実習ならではの、臨機応変な対応が常に求められます。

緊張するね...



「獣医総合実習(臨床)」基礎Data

動物医療センターで実施する実際の診療技能と臨床的知識を身につけることを最終目標にした教員の同伴もしくは指導下で、臨床例に対する診療行為を実施する実習。

- 各診療科に分かれて実習を行う。
- 総合診療科・画像検査(内視鏡含む)
- 専門診療科(内科)
- 専門診療科(外科)
- 手術・麻酔

獣医学科でも
実習します

獣医学科5～6年次 獣医総合実習(臨床) 通称:ラウンド実習



学修支援システムで動画を見て、ある程度事前学習を行ってから実習に挑みます。どこに何があるか、どんな検査手順か、次になにをすべきか。獣医療のサポートができるよう、常に一歩先、二歩先を見越して動くのが動物看護師の役割です。

医療
センター
だもの

獣医学科4年次 野生動物学実習



「野生動物学実習」基礎Data
全5回のプログラムで構成。動物園見学、水鳥の救護方法、解剖調査等を行うことで、野生動物の飼育、臨床、保護、研究などの現場を知り、そこでの獣医師の役割や社会的使命を理解することを目的とする実習。

水鳥の油汚染の現状、そして救護方法を学びます。



午後は外部講師の皆川先生のご指導の下、実際にアイガモを用いて油汚染洗浄の練習を行います。犬や猫とは違い、翼を持つ鳥は保定にも一苦労。飛ばないように、そして気嚢を圧迫しないよう、細心の注意を払います。



綺麗にしてくれてありがとう。



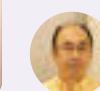
今回は野生動物学実習4日目に行われた「油汚染実習講義および水鳥洗浄実習」をご紹介します。

まず初めに、箕輪非常勤講師から環境省水鳥救護センターの在り方、そして水鳥の油汚染の現状について学びます。油汚染事故が起こってしまったときのため、油の除去方法についても教わります。



C B T、総合獣医学および国家試験学習用WEB学習支援システム

2015年教育・学習方法等改善プログラムに採択され、整備された獣医学共用試験(vetCBT)と獣医師国家試験勉強のためのWebシステム。毎年6年生が国家試験前に参考書を入れたキャリーバッグをガラガラさせているのを見て、参考書を持ち歩かずWebで勉強してほしい!という佐々木先生の想いがきっかけで獣医学教育推進室が整備したシステムです。ネットワーク環境さえあれば各自のパソコンやスマートフォンでいつでも、どこでも利用できます。現在は5年生のvetCBT対策と6年生の国家試験対策の演習として利用されています。



獣医学科 佐々木典康 准教授
スキマ時間を使って効率良く勉強して、国家試験に合格してもらえると嬉しいです!

獣医学共用試験:獣医師の資格がない学生が動物病院で動物に接する場合、必要不可欠な知識・技能・態度が備わっていることを飼育者に示し、診療に参加することに同意してもらわなければなりません。このため、診療に参加する学生の知識・技能・態度のレベルが一定水準以上であることを保証するため実施しています。

動物科学科2年次 農場実習



「農場実習」基礎Data
2年生の夏休み、3泊4日で行う富士アニマルファームの実習。
「選択」科目ではあるが、今も昔も70%以上の学生が受講する二チジュウの
“名物”かつ“伝統”の実習科目。

まずは相手を知ることから。富士アニマルファームにはたくさんの動物がいます。



富士アニマルファームには牛、馬、羊、ヤギ、犬合わせて100頭以上の動物たちが暮らしています。また、珍しい品種も飼われており、牛だけでも乳用種、肉用種合わせて9種も！体格的特徴などを実際に見ながら学びます。



自然の中で馬に乗るのは
気持ちよさそう！

牧場の作業はとにかく体力勝負！搾乳、羊の毛刈り、牛舎の掃除…初めての体験が待っています。

牧場の朝は早い。皆でラジオ体操をしたら、牛舎を清掃。牛たちが気持ちよく過ごせるように、綺麗にします。

搾乳は一日2回、朝と夕方に行います。コツを掴むまでには一苦労。



今年の1月に完成した
新牛舎はやっぱりきれい！



羊の毛刈りも行います！毛刈りは年1回行う大切な仕事。羊たちの身体を傷つけないようにしながら、ハサミでチョキチョキと慎重に刈っていきます。これがなかなかの重労働！きれいに刈られた羊たちは、きっとまた来年も学生たちに毛を刈られることでしょう。



刈ってくれてありがとう。

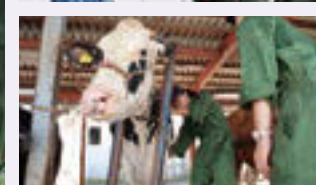
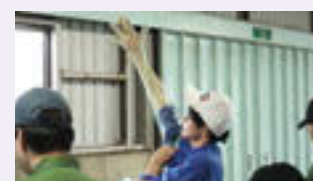
座学だけでは学べない、肌で感じないと分からないことがたくさんあります。



牛の繁殖について、まずは生殖器を観察してから、直腸検査で確認！全員が初めての体験です。ドキドキしながら体験した人、覚悟を決めてどっしり構えて体験した人、三者三様でした！



教科書と実際に
触ってみるとでは全然違うね。



動物の体調管理について、実際に牛を観察しながら学びます。頭絡の装着方法も教えてもらってつけてみます。ヒトの何十倍もの体重のある牛たちにつけるのはひと苦労。聴診器を使って牛の心音も聴きました。最初はなかなか苦戦していた様子でしたが、聴こえると歓声が！命の音は重みを感じます。



病気を防ぐため、良い牛に育てるため、効率的な仕事をするため。酪農にも科学の力は必要です。



ヒトにとっても、牛にとっても、健康であることが一番。病気を防ぐため、そして早期発見のためには日々の検査が肝心です。ここでは検査の重要性だけでなく検査方法、そして牛の健康状態の評価方法を学びます。



また、家畜にとって牧草は重要な栄養源。牧草地の管理についても確認しました。

未来の農業はどうなるのか。皆で考えます。

この実習の大きな特徴！それは討論とグループ発表があることです。前半組は「豚コレラワクチンの是非」、後半組は『酪農や肉牛生産の現場でAIやIoTの技術を活かした良いアイデア』について各班で考え、発表しました。すぐに思いついた班、最後まで苦戦していた班とそれぞれでしたが、若者らしい斬新なアイデアがたくさん出ました！



濃厚な3泊4日もあっという間。最後の夜はバーベキューを楽しんで、お別れです。



最後の夜のお楽しみ。それはバーベキュー！酪農家の方々が大切に大切に育てた命をいただきます。

1年次のオリエンテーションの時は緊張したバーベキューだったそうですが、今回は楽しかったという声も聞こえました！



食品セミナーI

「食品セミナー」基礎Data

社会で求められる実践力を養うため、大学外での経験を積み、学生自身が今後のキャリアについて考えるという授業のねらいのもと、本年度よりⅠは従来の「オーストラリア実習」の他、「食品科学科とチクレングループによるインターンシッププログラム」、その他「企業へのインターンシップ(5日間)」から選択することができるようになった！Ⅱは北海道食品セミナーとして、4泊5日の実習を行っている。

ニチジュウ×北海道チクレングループ 食品科学科インターンシッププログラム

今年も商品開発に挑戦！



今年も商品開発に挑戦中です。6階にある食品製造実習室で試作を行います。授業では3年次に選択科目で畜産食品製造学実習がありますが、ほぼ全員履修しているため大人数。少人数で先生からしっかりと教わることができるのもこのインターンシップの良いところ。そして“ニチジュウらしい”商品を目指して奮闘中！

どのようにして商品は作られるのか。目で見て、感じます。



産学連携協定を締結している株式会社北海道チクレンミートは、北海道札幌市に本社と工場を構えています。実際にどのようにして商品は作られているのか？普段なかなか入ることのできない工場を見学し、社員の方と意見交換を行いました。多くの参加学生にとっては初めての本格的な工場見学となったので、新鮮で貴重な体験ができました！



先輩たちが作った大学オリジナル商品、そして食品科学科のPRも忘れません。



工場見学、商品開発だけではなく、食品会社ではどのように相手に魅力的に商品を伝えるかも重要です。昨年度の先輩たちが商品開発を行った「発酵バター入りニチジュウコンビーフ」をさまざまな場所でPR！どうしたら商品の魅力が伝わるのかそれぞれ考え、実践します。商品が売れたときや「おいしい！」と言ってもらえたときの喜びは、はかり知れません。

食品セミナーII 北海道食品セミナー(5日間)

4泊5日のこの実習。主に食品会社の見学を行います。大企業と中小企業、それぞれの施設規模、良さと工夫点、そして地域や社会に対する役割を比べながら、食品会社の現場、そして働くとはどういうことなのか、理解を深めます。



毎年少しずつ訪問先も異なります。今年はハム・ソーセージ製造工場や生鮮珍味工場、ウィスキー工場、ビール工場などを回りました。少しだけ観光もはさみつつ、食の楽しさ、そして美味しさを感じられた5日間となったようです！



4学科共通の唯一の実習！



オーストラリア スタディ・ツアー(10日間)

獣医学科、獣医保健看護学科、動物科学科、食品科学科の全4学科で希望者を対象に行う10日間の実習。

4学科共通のプログラムでは海外協定校のクイーンズランド大学を中心に動物病院や野生動物公園の見学を行います。学科独自のプログラムもあり、野生動物保護センターやオーストラリアで出荷量No.1の農場、そして食肉処理場の見学など、濃い10日間となっています。普通の海外旅行ではなかなか行くことのできないところに行けるのも良いところ！



教育・学習方法等改善プログラム



2019

大動物臨床実習 内容の充実化

獣医学科
三浦亮太郎
Ryotaro MIURA

ニチジュウが今後、力を入れていく必要のある分野
——牛や馬それから豚などの大動物を対象にした臨床

教育学習方法等改善プログラムとは？

教育・学習方法等の改善に関する主体的な取組を行う教員又は組織を支援することにより、教員及び組織の教育力の向上を図り、本学の教育改革を推進するプログラム。

◆過去のプログラム名

- 2014 年
- ・獣医学教育国際認証推進室の設置
- 2015 年
- ・総合獣医学教育支援システムの構築
- 2016 年
- ・コミュニケーション・カード（大福帳）による授業改善
- ・臨床実習の学修支援システムの開発



大型モニター

この大型モニターを利用し、学生たちと議論形式の実習を行いました！

ニチジュウは東京都武蔵野市という交通アクセスも非常に良い立地ですが、その立地によりキャンパス内で牛を用いた実習が難しくなっています。しかし、将来獣医師になる学生には、分娩の過程でのトラブルや、生まれてきた新生子の管理や対応について勉強する必要があります。

そこで、牛の分娩介助や難産時の対処方法の説明および習得を目的とした効率的な実習を行うため、「牛の分娩シミュレーター」を導入するこの取組みが計画されました。

シミュレーターはこれから設置予定で本学にはまだありませんが、既に購入した大型モニターを利用して、子牛を用いての血液生化学検査による状態評価と、様々な輸液剤を使用しての輸液療法の効果の判定する実習を行ったそうです。

現在、大動物臨床教育を充実したものにするため、様々な点で内容を見直している最中という三浦講師。「このプログラムを通

してニチジュウの教育をさらに発展させていきたい」と話してくれました。

【概要】

大動物臨床の教育は、獣医学教育の一端を担う重要な分野であるが、本学における大動物実習内容に関してはさらなる充実が必要であると考えられる。特に、大動物における分娩から新生子の管理にかけての分野は、生体を用いた実習実施の困難さもあり、十分に実施出来ていない。そこで、牛の分娩介助および難産時の対処方法の説明および習得を目的とした実習を行うため、牛の分娩シミュレーターを導入し、効果的な実習を実施する。また、新生子の管理の中で、下痢に伴う脱水および体液平衡の異常を補正するために、輸液療法が重要な役割を果たしている。そこで、生体子牛を用いての血液生化学検査による状態評価と、様々な輸液剤を使用しての輸液療法の効果の判定を実習する。さらに、子牛の発育に伴い腹腔内臓器の構造および機能が変化していくことから、その評価を行うため生体子牛に対して超音波画像診断装置を用いての腹腔内臓器の観察の実習を行う。

学生の資格取得を応援

——新時代の専門職員(学芸員)

獣医保健看護学科と動物科学科の学生が取得できる「学芸員」資格。学芸員とは博物館（美術館、動物園、植物園含む）の資料の収集、保管、展示及び調査研究を行う専門職員です。そして現代の博物館は収蔵品におけるデータの蓄積及び発信などあらゆる場面のメディアの活用が求められます。そこで、時田先生は「博物館情報・メディア論」担当の小林非常勤講師とともにこのプログラムを計画し、取り組んでおられるそうです。

3D プリンターの実演と体験、デジタルサイネージを利用した本学の学芸員課程の紹介等、学芸員課程の学生たちが 11 月の医獣祭にてこの取組みの発表を行いました。

【概要】

本学付属ワイルドライフ・ミュージアムは、我が国における獣医畜産学の歴史遺産を保管・紹介することを第一の目的としている。

歴史系展示室の大学史に関する資料としては、文書書籍資料に加え、実験器具や家畜飼育等に関わる用具類がある。これらの機材は直接展示して活用する以外にデジタルデータとして蓄積し、デジタル資料として保管管理することにより、利用者に対してタブレット等で閲覧可能となり、資料の活用性を高めることができる。また、自然系展示室には様々な動物の頭骨や剥製、身近な鳥の剥製を展示している。これら配置には展示室の制約があり、展示室は一方からしかみることができない。しかし、予め展示室を 3D スキャンしてデジタルデータ化し、PC やタブレット、スマートフォンなどで保管できれば資料を全方向から見ることができ、3D 閲覧コンテンツを利用し、展示室で自由に見学できるようになる。さらに、展示の有効性を高めるためのガイド機能として、デジタルサイネージや VR・AR 技術を活用して解説情報などを付加することにより、展示品と解説を同時に閲覧することができるようになる。

以上について、学芸員課程における教育を通じて実施し、あわせて博物館資料の視覚化と展示法の改善を図りたい。

3Dスキャン&プリンター

物体を2次元のデータとして読み込む技術で、博物館ではデータを電子上で保存したり、レプリカの作成のために使用します。



（使い方）
対象を台に乗せ、
360 度スキャンする。



プリンターで印刷すること
一晚…。

完成！

立体的に複製
できました！

デジタルサイネージ

デジタルサイネージとは電子掲示板のこと。文字や画像以外に動画も再生可能です。



これが1枚あるだけで、パネル何枚分もの解説ができる！医獣祭では博物館実習で学生が作ったパネルでニチジュウの学芸員課程について紹介しました。

2018

博物館資料の視覚化と 展示法の改善

学芸員課程
時田 昇臣

Norio TOKITA



第4回医獣祭

～梅花の宴～

知ってる？
医獣祭
実行委員会

医獣祭実行委員
からみた医獣祭を
紹介します！



模擬店
支える
模擬部門



模擬部門は模擬店を出店する団体の管理をする部門です。
模擬店で扱う調理器具や備品などを管理して、当日使用できるように手配したり、団体に対しての説明会を開いて、模擬店運営での注意点を述べたりなど、各団体が安全に、かつ快適に行えるように尽力しています！

模擬店が
並ぶ様子



団体からの
質問に
答える様子

今年の模擬店出店は48団体！！
模擬部門が各団体との連絡を常にとっていることで、安全にかつ安心して、そして楽しく出店団体の食べ物を食べることができるのです！

医獣祭当日はどういう仕事をするんですか？

消防署の方と一緒に火器の見回りをしたり、出店団体に問題が起きた時の対処をしたり、しっかり衛生面が保たれているかを確認したりします！



獣医保健看護学科 2年次 長谷部 楓子さん
(医獣祭実行委員 模擬部門長)



11月1日～3日まで行われた今年の医獣祭。
日本医科大学との合同で行われるようになって4回目を迎えました。
皆さん“医獣祭実行委員の仕事”ってご存知ですか？
実行委員は医獣祭成功のために、何か月も前から活動しているのです。
今回は医獣祭実行委員の仕事をメインにお届けします！
これを見て少しでも実行委員のことを知ってもらえたら幸いです！

イス・机を
運び出す
様子



今回記事を作成した
学生をご紹介します★

食品科学科 3年次
篇 宏太郎さん
(医獣祭実行委員 装飾部門)

イベントの
まとめ役
展示部門



企画提案から記事作成まで
頑張ってくれました！



展示部門は各教室で行われる研究室やサークル・同好会の活動内容発表、外ステージ・アリーナでのイベントを管理する部門です。
タイムテーブルを作成したり、各教室での椅子・机の必要数を把握したりなど、発表する各団体が快適に行えるように尽力しています！

タイム
テーブル

医獣祭当日のタイムテーブル！
各団体が日頃の成果を十分に発表することができる時間はどのくらいか、企画部門が行うイベントはどのくらいの時間を要するか、お笑い芸人が登壇する時間など、全ての出し物が滞りなく行われるように考えられています！

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
アリーナ									
外ステージ									
展示									
アリーナ									
外ステージ									
展示									
アリーナ									
外ステージ									
展示									
アリーナ									
外ステージ									
展示									

片付け日
の様子



展示部門のおかげで私たちは外ステージ・アリーナでの様々なイベントを出演者、観客のどちらもストレスなく楽しむことができたり、パリエティに富んだ各団体の教室展示を見ることができたりするのです！

今年のゲストはどうやって
出演してもらうことが決めたの？

獣医保健看護学科 2年次
佐々木 美緒さん
(医獣祭実行委員 副実行委員長)

縁の下の
力持ち
会計部門

ステージ会社さんを通して出演交渉を行い、芸人さんの候補を出していただきました。その中から幹事で多数決を取り、4組出演していただくことが決定した形です。学園祭などでは4組ほどのセットで提案されることが多いそうですよ！



各部門でかかるお金の支出管理や、学祭全体の費用において収支に差がないかを計算する部門です。
学祭を運営する上でお金は大事！！
様々なところからの援助を受け、この学祭は成り立っています！



彩り添える
装飾部門



外ステージと
階段

装飾部門では外ステージやアリーナの背景、正門のゲートなど医獣祭を華やかにする装飾物を製作する部門です。
8月あたりから活動を開始し、当日には完璧な状態でお披露目できるように頑張って製作しています！



背景
色塗りの
様子

今年の医獣祭のテーマが「梅花の宴」ということもあり、装飾物の全体的なテーマは「和」となりました。
「和」をイメージする柄や絵を模造紙や木の板に描いていきます！
色付けにはペンキを使用しますが、ペンキのほかにも様々なアイデアを出し合って、色付けに工夫をこらしています！



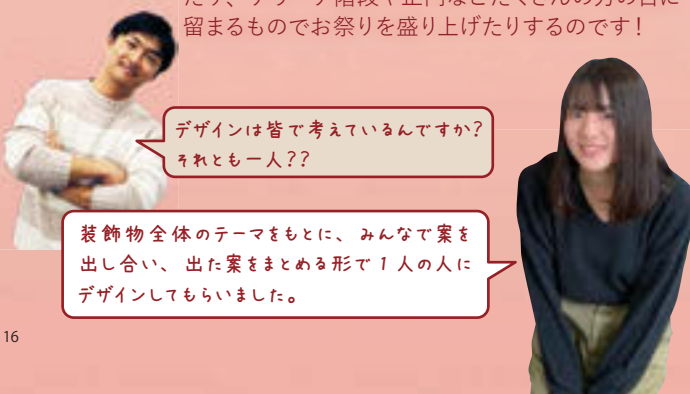
最後の
手直し

3年生は実習や研究室での活動が忙しいためアリーナのバックのみ担当しています。
予定の合間を縫って集合し、製作しています。



完成！

こうして完成した装飾物が医獣祭当日にお披露目されます。外ステージやアリーナで行われるイベントの背景を華やかにしたり、アリーナ階段や正門などたくさんの方の目に留まるものでお祭りを盛り上げたりするのです！



デザインは皆で考えているんですか？
それとも一人??

装飾物全体のテーマをもとに、みんなで案を出し合い、出た案をまとめる形で1人の人にデザインしてもらいました。

獣医保健看護学科 3年次
長島美奈さん
(医獣祭実行委員 副実行委員長)



獣道
の様子

企画部門では、外ステージで行われるLets' go 獣道や男装・女装コンテスト、牛乳早飲みなどのイベントや、パンフレット内にあるクイズシートを使用して、様々なクイズを解いてもらうクイズラリーを手掛ける部門です。
学生だけでなく、一般の方も参加できるイベントもあり、医獣祭を盛り上げるためにはなくてはならない部門です！



男装・女装
コンの様子

医獣祭最終日、牛乳早飲みは親子部門・男女個人部門・団体部門があり、一般の方も参加されます。
企画部門の実行委員が、前日まで入念にリハーサルを重ね、それぞれが尽力した結果、トラブルなく大盛り上がりで終了しました！



花形！
企画部門



リハーサル

医獣祭当日に使用する小道具やその材料などを夏あたりから準備を始めます。
また、当日、参加者の誘導やイベントの進行がスムーズに行われるように、数週間前から放課後にリハーサルを行います。



牛乳早飲み
の様子

いかがでしたか？

今回の記事では、概要しかお伝えすることができませんでしたが、少しでも医獣祭実行委員に興味を持っていただけたら嬉しいです！

今年の医獣祭は実行委員だけでなく、皆様のご協力もあって大成功に終わりました。来年の医獣祭も実行委員と皆さんでよいもの作り上げていければと思っています！



内田 光俊
(Mitsutoshi UCHIDA)
獣医学部獣医学科 6 年次
獣医病理学研究室所属

自分のなりたい姿を描き、
行動し、掴む。

動物園獣医師の道を志す 内田 光俊

——内田さんは動物園獣医師として春から勤務予定ですが、志したきっかけを教えてください。

小さい頃「どうぶつ奇想天外」というテレビ番組を見ていて、野生動物への関心が強くなりました。そういう動物たちを身近に見られるのが動物園という場所だったので、仕事としても憧れがありました。また、獣医師になろうと思ったのは高校1年生の時です。それまでは飼育員や生命科学系の研究をしたいと思っていました。次第に生命にかかわる現場で仕事がしたいと考えるようになり、獣医師を志しました。

——入学後、夢を叶えるために行った具体的なことはなんでしょう？

1年生から毎年動物園や水族館で実習しました。合計8園館の実習経験で現場をよく

知ることができました。実習先は自らアタックして依頼しました。その他、野生動物の野外観察へ積極的に出かけたり、野生動物や動物園関連の学会や講習会にも積極的に参加し、現場で働く方々の話を聞いて自分が動物園獣医師として働くイメージをしていました。

——就職活動の試験対策は？

特にこれといったことはしていません(笑)。動物園獣医師は基本的に欠員補充で1枠採用のため“狹き門”ですが、就職試験は一般企業と変わりありません。書類選考が通れば、自分の想いを伝えるのみ。想いや考えは図にまとめていくくらいです。

——内田さんは獣医病理学研究室に所属していますが、選んだ理由を教えてください。

2年生の時、ある動物園での実習で病理

出身の先生に出会いました。その先生が病理的な知識を使って働いているところを見て、動物園の現場では病理は大切だと感じました。

また、動物園動物は特殊な動物が多いので、基礎知識をしっかり身につけて応用できるようにしたいと思ったからです。

——どんな動物園獣医師を目指していますか？

動物園の現場で獣医師として勤務することは、学術的な知見のみならず命というものについても学び得るものが多いのではないかと考えています。私は動物園獣医師として動物から学び、ヒト社会と共有する獣医師でありたいと考えています。また、飼育と診療に携わる中で一症例一症例を大切に、生から死まで徹底的に向き合える獣医師でありたいと考えています。現場では自分なりの工夫や挑戦も続けていきたいと思います。

——動物園に勤めたい学生も多いと思うのですが、最後にメッセージをお願いします！

勉強と私生活の両方が充実した学生生活を送ってもらえたらと思います。また、動物園は狭き門と言われますが、獣医師の仕事の一つにすぎないと思います(私が偉そうなこと言える立場でもないですが)。獣医師として社会で働く以上はそれぞれが高度な専門的な仕事をするわけですし、そのなかで動物園が特別なわけでもありません。狭き門という事は最初はあまり考えず、まずは本当に自分がやりたいことなのかと考えてください。そのうえで動物園を目指すのであれば、何かしら道は開けるものだと思います。あまり倍率などは考えないことをオススメします。いつか業界内で皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

——ありがとうございました！！



▲動物園内での実習

THE ROAD TO SPECIALIST

スペシャリストへの

道

～学生編～

本学の教育理念は「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」。獣医、獣医保健看護、動物、食品に関する専門職(スペシャリスト)の道を歩むことを目指す学生の活動と既に歩んでいる卒業生の活躍を紹介します。

友野 夏実
(Natsumi TOMONO)
応用生命科学部食品科学科4年次
食品安全学教室所属

“好き”を仕事に。学びを仕事に。

日本の食の安全を守る
友野 夏実

——友野さんは食の安全を守る検査員として春から勤務予定ですが、そもそも食品科学科に入学したきっかけはなんだったのでしょうか？

もともと科学(化学、生物)が好きだったことと、食べることが好きで、“食品科学”について学べる食品科学科は好きなことが詰まっていて面白そうだったので入学を決めました。

——“食品の科学”について学べる教室はいくつありますが、食品安全学教室を選んだ理由を教えてください。

1年次で受けた吉田充教授の「食べ物の安全性」(現在は開講なし)の講義内容が面白く、印象に残っていたので、吉田教授が在籍している食品安全学教室を選びました。

——食の安全について学んでいく中、就職活動が始まりました。就職はどのように考えていましたか？

好きなこと(食と科学)を活かした仕事に就

きたいと考えていました。

——食品関係というと食品製造会社も選択肢として出てくると思いますが、検査員を目指したのはなぜですか？

計画を立ててコツコツと物事を進めていく方が自分に合っていると思いました。

例えば食中毒などの食の安全に関する事件があると、消費者が不安になってしまいます。安全な食品でも避けられてしまうことがあるため、事件になる前に防ぐ、縁の下の方のような仕事に就きたいと考えるようになりました。

——コツコツ頑張ったおかげで見事希望の職場に春から勤務予定ですが、どんなスペシャリストを目指していますか？

食の安全に関する一つの部門において、専門的な知識を極めた人を目指したいです。

——最後に在学生へメッセージをお願いします。

コツコツと努力することと計画的に物事を進めていくことは基本中の基本ですが、私は大切なことだと思っています。普段の授業や研究室などでそれらを積み重ねていくことが今後の自分に影響するため、残りの学生生活を大事に過ごしてください。

——コツコツ積み重ねた結果、希望の道に進むことができた友野さん。これからも応援しています！



THE ROAD TO SPECIALIST スペシャリストへの道 ～卒業生編～

—10月13日に行われた第24回秋華賞(G I)では、クロノジェネシスがG I 初制覇となりました。クロノジェネシスは齋藤調教師の厩舎出身。齋藤さんもG I レース初制覇ですね。おめでとうございます！

ありがとうございます。

—大学入学時から調教師になることを志していたのでしょうか？

はい。もともと競馬が好きだったので、厩務員や調教師になるために大学への進学を目指しました。ニチジュウには卒業生に厩舎関係者の方が多くいたことと、馬術部があったからです。

—大学4年次には、アイルランドの厩舎に5か月間研修に行かれていたんですね。

3年次の時に本当に馬の道に進むのか悩んでいた時、大学OBの方に海外での研修を

勧められ、行きました。

—アイルランドで「やはり馬の仕事に就きたい」と決断したきっかけはなんだったのでしょうか？

実際に競走馬に乗ったり、その馬で競馬に行ったことがきっかけで、迷いがなくなりました。

—JRA競馬学校を卒業後、約8年間JRA松永幹夫厩舎に所属し、2016年に調教師として開業されました。調教師として大変なことは何ですか？

生き物相手ですし、レースでは他の馬と競い合わなければならないので、いつも思い通りにはならないところが大変です。しかし、いろいろなことは馬が教えてくれますし、いつも馬に助けてもらっています。

—調教師の魅力はなんですか？

馬主さんをはじめ1頭の馬には多くの人間が関わっています。それだけにレースに勝利したときの喜びも大きいですし、多くの方と分かち合えます。そこが調教師の魅力ですね。

—最後に、在学生にメッセージをお願いします

どんな職業でも様々な苦勞があり、とても大変だと思います。競馬にかかわる仕事も同じで、大変なこと、危険なことも多いです。それでも、努力したことがレースの成績など目に見える形で結果として現れる職業なので、とてもやりがいのある仕事だと思っています。

—ありがとうございました！

齋藤 崇史(Takashi SAITO)
2005年3月 応用生命科学部動物科学科 卒業
2005年4月 ノーザンファーム 就職
2007年6月 JRA競馬学校(厩務員課程) 入学
2008年2月 JRA松永幹夫厩舎 所属
2014年12月 調教師試験 合格
2016年3月 調教師として開業

馬と向き合う。勝利のために。

日本中央競馬会 栗東トレーニングセンター
調教師 齋藤 崇史

—石井さんは本学大学院を修了後、研究補助員を務め、現在は事務職員として学芸員の資格を活かしながら本学にお勤めされています。博士前期課程修了後、最初から学芸員の資格を活かしたいと考えていましたか？

学部卒業時はあまり考えていませんでしたが、大学院を出る頃に博物館に残る話が出て、ぼんやりと考えていたくらいです。学部生時代は、展示のデザインをする会社を受けたりして、学芸員というよりは魅せ方、伝え方を考える仕事に就きたい気持ちもありました。

—学芸員課程を取ろうと決めた理由はなんですか？

高校を卒業した頃に初めて行った国立科学博物館の展示を見て感動したことが一つの大きなきっかけです。その時も研究をするということよりも、展示を考え、人に伝えるということに憧れを持った記憶があります。

—現在、仕事をされる上で大変なことはありますか？

ワイルドライフ・ミュージアム専属の事務職員が今までおらず、自分自身も学芸員としての経験がゼロの状態です。今でも基本的にはすべての作業を一人で行い、常に自分で考えて行動に移す必要がありますので、毎日試行錯誤の連続です。

—具体的にはどんなことが大変ですか？

例えば、企画展の内容も自分自身で考え、一から展示を作成しています。8月からは企画展「日獣大の野生動物研究最前線」を開催しています。学外から来た方にも本学で行われている野生動物の研究の奥深さ、幅広さを伝えるべく、今までの企画展よりイラストを増やしたパネルを設置するなど様々な工夫をしました。「大学の先生に聞くよりもわかりやすい」という感想をいただいたときは、今回の企画展を開催した意味があったと感じました。

—良いお言葉をいただいた時にはやりがいも感じられますよね。学生時代の勉強は今どのように活かされていますか？

博物館には歴史系展示室(大学の歴史に関する資料の展示)と自然系展示室(日本の



石井 奈穂美(Naomi ISHII)
2012年 3月 獣医学部獣医保健看護学科卒業
2014年 3月 大学院獣医生命科学研究所 獣医保健看護学専攻博士前期課程修了
2014年4月 日本獣医生命科学大学研究補助員として勤務
2017年4月 日本獣医生命科学大学パート事務職員として勤務
2018年7月 学校法人日本医科大学事務職員として勤務
(配属:付属ワイルドライフ・ミュージアム)

野生動物に関する資料の展示)があります。自然系展示室では、学生時代に学んだ野生動物に関する知識が活かされていますね。また、学生時代はレクリエーション同好会に所属し、上野動物園で解説を行ったり、井の頭自然文化園でアルバイトをしていました。その経験が今の展示解説の仕事に活かされていると感じています。

—学芸員の仕事はいわゆる“狭き門”ですが、同じ“狭き門”の仕事を目指す学生にメッセージをお願いします。

自分の「やりたいこと」がはっきりと見えていない人もいます。また、やりたいことがしっかりと決まっている人でも、向き・不向きによっては挫折を経験することも

あるかもしれません。大学生の間に少しでも興味のあることには幅広く積極的に参加し、本当にやりたいことは何なのか、自分自身に向いていることは何なのかを見極めていくことが大切だと思います。

—ありがとうございました！





ニチジュウの教育とは…。

ニチジュウでの授業経験について、学生アンケートを実施しました。
他大学 (IRコンソーシアムアンケート結果) とも比較した結果、ニチジュウならではの
特徴ある項目についてご紹介します。

将来、**仕事に役立つ**知識や スキルを学ぶ授業

「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の
育成」を教育理念とするニチジュウ。
より実践的で将来仕事に役立つ知識やスキルを授業に取り入
れて開講しています。

- No.16において、「3.ときどき受講した」または「4.ひんぱんに受講した」と回答した学生の割合
将来、仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ授業(※1つ選択)
- 1.まったく受講しなかった
 - 2.あまり受講しなかった
 - 3.ときどき受講した
 - 4.ひんぱんに受講した

84.9%



体験的に学ぶ授業



81.2%

実験・実習が豊富に含まれたカリキュラムで
教育を行っている各学科。

体験的に学ぶ授業をうけたことがあると、
80%以上の学生が回答しました。特に、獣医保健
看護学科の4年次では98.8%という割合になっ
ています。

- No.15において、「3.ときどき受講した」または「4.ひんぱんに受講した」と回答した学生の割合
実験、実習、フィールドワーク、グループワークなどを実施し、体験的に学ぶ授業(※1つ選択)
- 1.まったく受講しなかった
 - 2.あまり受講しなかった
 - 3.ときどき受講した
 - 4.ひんぱんに受講した

「学生アンケート2018」

調査日：2018年9月20日(後期カリキュラムガイダンス中)

対象：全学部学生

回答率：89.3%

【設問】Ⅱ. 授業・学習について 2-1①授業経験についてお聞きします(No.15及び16より抜粋)

獣医学科

	科目名	学年	単位数
1	学外実習Ⅰ	2年次	1
2	学外実習Ⅱ	2年次	1
3	比較発達心理学実習	2年次	1
4	魚病学実習	3年次	1
5	野生動物学実習	3年次	1

獣医学科は選択科目の実習が5科目だけ！
卒業要件単位がこのうち3単位なので、開講
年次が3年生の「魚病学実習」や「野生動物
学」実習を受講するのは少数です。
興味のある学生だけがみっちり学べます。

獣医保健看護学科の2年生以上のカリキュラムでは、
選択科目の他に選択必修科目があります。
「選択必修」というくらいなので、たくさんの学生が
選択している科目が並んでいます。

動物科学科

	科目名	学年	単位数
1	飼養学実習	3年次	1
2	動物生化学実習	3年次	1
3	動物繁殖学実習	3年次	1
4	動物生体機構学実習	1年次	1
5	動物防疫学実習	3年次	1
6	スポーツ実技	1年次	1
7	生物学実験	2年次	2
8	農場実習	2年次	1
9	畜産物利用学実習	4年次	1
10	スポーツ野外活動	3年次	1

「畜産食品製造学実習」では、
乳製品(チーズ、バター、ヨーグルト、アイスク
リーム)の製造の他、肉製品(枝肉解体、ソー
セージ、ロースハム、ベーコン、オリジナル缶詰
め)の製造をします。
また製品のプレゼンテーションも行っています。

食品科学科

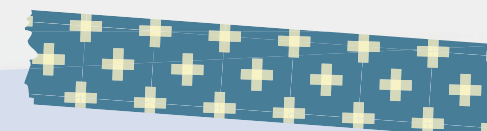
	科目名	学年	単位数
1	畜産食品製造学実習	3年次	1
2	卒業論文	4年次	6
3	スポーツ実技	1年次	1
4	食品セミナーⅡ	3年次	1
5	化学実験	2年次	2
6	生物学実験	2年次	2
7	コンピューター概論	2年次	1
8	食品セミナーⅠ	2年次	1

ニチジュウでは
講義後に実習があって、
習ったことが定着するんだと
思います。



選択「実習」 選択者が多い 科目はなんだろう？

対象：2018年度選択科目(選択必修含む)
但し、語学を除く



獣医保健看護学科

	科目名	学年	単位数
1	動物栄養学各論実習a	3年次	1
2	動物医療看護学Ⅲ実習	3年次	1
3	動物医療センター実習Ⅰa	3年次	2
4	卒業論文	4年次	4
5	動物医療看護学Ⅳ実習a	3年次	1
6	動物繁殖学実習Ⅰ	3年次	1
7	動物生態調査実習a	3年次	1
8	動物医療センター実習Ⅰb	4年次	2
9	動物栄養学各論実習b	4年次	1
10	水生生物学実習a	3年次	1

Topix ニチジュウのシンボル 一号棟(本館)が国の登録有形文化財に!!

国の文化審議会が11月15日、文部科学省に答申した登録有形文化財にニチジュウの本館が含まれました。本館は、1909(明治42)年、現在の六本木付近に旧東京市麻布区役所庁舎として、建築されました。1937(明治12)年にこの武蔵野の地に移築され、長い間ニチジュウのシンボルとして愛されてきました。

明治時代の役所の建造物としては都内唯一であり、庇や腰折れ屋根(マンサード屋根)など当時の雰囲気が残っている貴重な建物です。

また、一昨年の調査の際、本館の屋根裏から、建設された当初の棟札と、移築されてきた際の棟札が見つかりました。

棟札は建物創立時の状況等を示す貴重な資料で「東京市長尾崎行雄」の名も記されています。棟札も補修し今後資料として活用していくとのことです。

本館は現在、主にワイルドライフ・ミュージアムとして利用しており、本館の歴史についても展示にて解説を行っています。

ニュース
「日本獣医生命科学大学一号棟が登録有形文化財に登録」

(もっと詳しく!)



ワイルドライフ・ミュージアム
ホームページはこちら



学生対象 ワーク・ライフ・バランス に関する講演会



9月19日(木)ダイバーシティ推進委員会主催による講演会を開催しました。

植木委員長より学生にとって今後の参考になれば幸いと挨拶があり、「私の仕事・家事・育児の“ワーク・ライフ・バランス”」というテーマで、獣医学科の木邊助教と食品科学科の松田講師が、自身の経歴や1日の過ごし方などを交えて講演しました。

女性教職員を対象とした
ランチミーティングの様子



体育祭を 開催しました。

10月23日(水)武蔵野陸上競技場において、日本医科大学と合同で体育祭を開催しました。心配されていた天候もこの日はさわやかな秋晴れとなり、今年も大盛り上がりとなりました。



ニチジュウ シンポジウム2019

12月6日、第2回ニチジュウシンポジウムを開催しました。今回は連携事業と特色ある研究プロジェクトの発表が行われました。

動物慰霊祭を 挙行了しました。



10月30日(水)12時30分、本学『仁畜の碑』前において、動物慰霊祭を無宗教献花方式で挙行了しました。

食品科学科・ 小林史幸准教授が 「酒ディプロマ」に!

酒ディプロマとは一般社団法人日本ソムリエ協会による日本酒に特化した認定制度で、この度小林准教授が認定されました。

(詳しくはこちら)



獣医学科・小林正典講師が、 第162回日本獣医学会学術集会獣医繁殖学分科会において 「日本獣医繁殖学・優秀発表賞」を受賞!

令和元年9月10日~12日につくば国際会議場にて開催された第162回日本獣医学会学術集会・獣医繁殖学分科会で、本学獣医学科小林正典講師(獣医臨床繁殖学研究室)が「日本獣医繁殖学・優秀発表賞」を受賞しました。

タイトル「新規の犬前立腺癌細胞株CHP-2に対するRAF阻害剤GDC-0879の抗腫瘍活性」



学内イベントふるフェス!

広域・
近畿地区編

ニチジュウ

NVLU

ESTIVAL
ふるさと祭

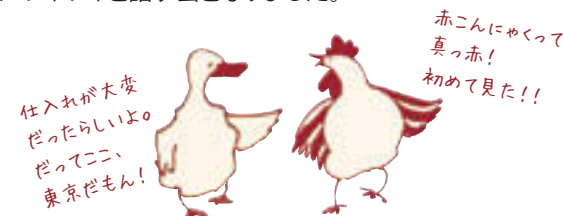


今回は広域・近畿地区
で開催

11月13日(水)12時15分~12時45分(昼休み時間帯)にE棟1階学生ホールにて、第2回ふるフェスを開催しました。

今回は学生部が主催でイベントを企画し、同窓会の中條会長をお招きし、学部学生13名、関西出身の教員6名と柿沼学生部長と吉田学生相談室長、総勢22名が集まりました。

今回もローカルトークの他、大学のこと、生活のこと(一人暮らしあるある)などを教員と学生が一緒にワイワイと話す会となりました。



大阪府出身 獣医学科1年次 工藤 英さん(左)
滋賀県出身 獣医学科1年次 辻岡生真さん(右)

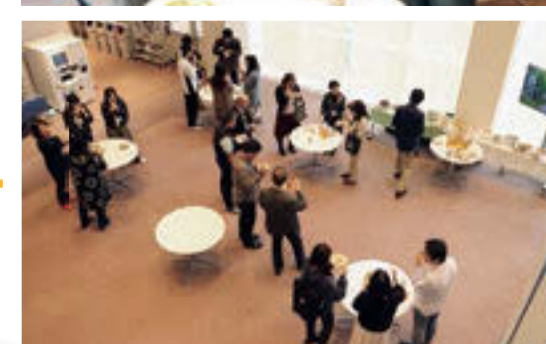
「関西会」というのが1Vにあるので、お知らせが来てみんなで参加しました! 赤こんにゃくがおいしかったです。午後の実習、頑張ります。



大阪府出身
獣医保健看護学科 水越美奈 准教授

授業や実習で接していても「どちらの出身か?」などの話題にはなかなかならないものです。学生、また教員同士もローカルな話題でお話できたことは、とっても楽しかったです。周辺から聞こえる懐かしい関西訛りやイントネーションで何だかほっこりしました。このような集まりが広がると良いですね。

前回同様、料理はCafe Sakaiの皆様にご協力いただきました。今回は店主の粋な計らいで卒業生も協力してくれました! ありがとうございます★



料理紹介

食べやすくおいしかった!



その他、お好み焼き(大阪)や赤こんにゃくの刺身(滋賀)も人気がありました!



獣医保健看護学科(2017年度卒業)
團 美月さん 兵庫県出身

新任教員紹介



【略歴】
2006年3月日本大学生物資源科学部獣医学科を卒業。卒業後は同大学付属動物病院で研修医として勤める。研修終了後は麻酔科専科の獣医師として約7年間勤務し、2017年4月日本獣医生命科学大学付属動物医療センターに着任し、現在に至る。

獣医保健看護学科 臨床部門 助教 関 瀬利

——はじめに自己紹介をお願いします。

日本大学付属動物病院で研修医として勤めていた頃、多様なメンバーで構成された「チーム医療」の存在を知り、一員として活動できる獣医師になりたいと考えました。その後、同大学付属動物病院に当時新設されたばかりの麻酔科の獣医師として約7年間勤

務しました。日本獣医生命科学大学付属動物医療センターでは主に麻酔関連業務と、研修獣医師、獣医学科や獣医保健看護学科の学生の指導を行なってきました。今は獣医麻酔学分野の教育や知識の普及に努めています。

——本学全体の雰囲気はどうでしょう？

——はじめに自己紹介をお願いします。

2013年に酪農学園大学を卒業し、小動物臨床7年目になりました。学生時代は金属耐性菌の研究をしていました。

今までは北海道札幌市の一次診療の動物病院に勤め、子犬の健康診断から大型犬の1.5次診療まで、何でも幅広く対応していました。特に産科の患者が多い病院だったので、妊婦や子犬に良く触れたように思います。

——北海道と東京では雰囲気が全く違いますよね。

東京だからなのか、やはりおしゃれな学生さんが多いです！また、先生や先輩と仲が良く感じています。

私が年を取ったのか、学生さんは若いけれどおとなしくてまじめな第一印象の子が多いです。若干食堂のメニューが寂しいと感じます…(笑)

しかし、近くにおしゃれなお店が多いのでトータルで魅力的です！ちなみに酪農学園



【略歴】
2013年3月酪農学園大学獣医学群獣医学類卒業後、北海道札幌市の動物病院に約6年間勤め、現在に至る。

付属動物医療センター 助手 阿江 理恵子

大学は外に出るのも大変で、近くには何もありませんでした(笑)

——最後に、メッセージをお願いします！

学生の皆さんとは呼吸器科や産科、画像

本学に着任して2年と少しですが、大学と学生の距離が近く、親身な指導を受けられやすい印象を受けました。研究室や動物医療センターでいろいろな学生と接しますが、非常に勉強熱心な方が多いですし、積極的な姿勢は見習う点が多いです。

——研究室ではどのようにお過ごしですか？

学生主体の勉強会や抄読会に参加させて頂いたり、付属動物医療センター内で学生の手術室での活動をお手伝いさせて頂いております。研究の3つの点を常に意識して、学生の皆さんの活動を支援できたらと考えております。

——意気込みをお願いします！

臨床現場で感じた疑問や改善すべき点を研究課題とし、研究成果を臨床の現場に役立てることを常に考えて活動したいと考えています。専門は麻酔と痛みの管理学ですが、特に注目しているのは麻酔管理に関わる全ての時期「周麻酔期看護学」という学問です。動物看護学においてはまだ分野がないため、確立に向けていきたいです。また、手術室を担当とする動物看護師の育成も積極的に関わりたいと考えています。

tsunagu by NVLU SHOP  おいしい話をお届けします。

~~期間限定~~で、発酵バター入りニチジュウコンビーフ販売中！！
好評につき、今後も

生協及びオンラインショップで販売中！

発酵バター入りニチジュウコンビーフ(1缶)

発酵バター入りニチジュウコンビーフ(3缶セット)

※12月より価格改定いたしました。詳しくはwebでご確認ください。

本学教員の【出版本の紹介】

 獣医学科 羽山伸一教授
「野生動物問題への挑戦」



編集後記

大学報をリニューアルしてから、「創刊」「研究」「学生支援」と特集を組んできました。さて、次は？と企画会議で検討し、「教育」と決定しました。中長期計画で定めた3つの教育のビジョン。そのうちの1つ「都市型大学としての特色ある教育システムを創出」をテーマに特集を組むこととし、4つの学科の特色ある教育を取材してまいりました。取材のために職員が実習に参加させていただいたり、今回初めての試みとして学生（食品科学科3年次）が医獣祭取材したりと、新しい取り組みにもチャレンジしてみました。ニチジュウの特色ある教育の一端をご紹介します。

ご意見・ご感想・取材依頼 募集中!!

大学報に対するご意見・ご感想をお知らせください。また、ニチジュウベストショットへの掲載や「私たちこんな活動しているよ！」等の情報をお待ちしております。

担当事務：
学長室・企画調査課
ir-nvlu1@nvlu.ac.jp
メールはこちら→



大学ホームページへの掲載

大学ホームページから、大学報「Hello,we are NVLU」をpdfで配信します。

<https://www.nvlu.ac.jp/universityguidance/023.html/>

電子版はこちらからどうぞ



Vol.69表紙絵

創作同好会 鈴木 日花里 さん (食品科学科3年次)

今回のテーマが「実習」ということで、それぞれの学科の実習を描きました。上から順に食品科学科の畜産食品製造学実習、獣医保健看護学科の動物医療センター実習、動物科学科の農場実習、獣医学科の動物衛生学実習です。オープンキャンパスで頂いたパンフレットの写真などを参考に描いたのですがこれで大丈夫なのか不安です。動物はあまり描いたことないので苦戦しました。色々とおかしなところがありますが大目に見てください。



医獣祭で販売しました！

Hello,we are NVLU(ニチジュウ)

—日本獣医生命科学大学報—

第69号(2019年12月号)

2019年12月26日発行

協力(以下敬称略)

学生:玉城芽衣 山本恵美 山口雛

藪田知果 濱こなみ 橋本純平

長谷川大起 鷺宏太郎 長谷部楓子

佐々木美緒 長島茉奈 内田光俊

友野夏実

卒業生:齋藤崇史(日本中央競馬会)

石井奈穂美(学校法人日本医科大学)

教職員:松石昌典 左向敏紀 森昭博

竹村直行 加藤卓也 佐々木典康

長田雅宏 佐藤薫 三浦孝之

奈良井朝子 田島剛 三浦亮太郎

時田昇臣 小林史幸 小林正典

水越美奈 関瀬利 阿江理恵子

教務委員会委員、FD委員会委員の皆様

その他ご協力いただいた皆様ありがとうございます。

ごさいました。

表 紙/鈴木日花里

イラスト/A.S.

編集・発行/日本獣医生命科学大学

IR推進委員会

(編集委員)

羽山伸一 近江俊徳 野瀬 出

知久和寛 高橋 勝 大沼友美

服部沙由花 上野美可子

印刷/相互ビジネスフォーム株式会社

nichistagram

#私の学び

Related Hashtags: #ご投稿くださった皆さま #ありがとうございます #次回もまた #投稿してね



bird_kantori



#虹 #関東鳥見隊略してカントリー
#バードウォッチング楽しいよ!



nvlubyouri



#病理好きとつながりたい
#教科書広げたままにしがち
#vetpathol #獣医病理学研究室



system_keiei



#ゼミ合宿 #シス経恒例
#牧心セミナーハウス



food_engineering



#修行中 #静岡県藤枝市
#初亀醸造株式会社
#食品工学教室